

## 2001年夏(6~8月)の東北地方の天候

- ・気温の変動が大きい
- ・7月は東北北部で多雨・寡照、東北南部で少雨・多照
- ・8月は東北太平洋側で低温・寡照
- ・梅雨入りの時期は東北南部、東北北部とも平年より早かった
- ・梅雨明けの時期は東北南部は平年よりかなり早く、東北北部は特定しなかった

### 天候の経過(図1~3、表1~5)

気温の高い時期と低い時期があり、6月上旬と下旬、7月は高温、6月中旬と8月は低温と、気温の変動が大きかった。

6月は梅雨前線や低気圧の影響を受けて平年と同様に曇りや雨の日が多かった。

7月は太平洋高気圧の勢力が強く、梅雨前線は日本海から東北北部に位置することが多かった。このため、東北南部は太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、東北北部は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

8月は、太平洋高気圧の勢力が弱く、オホーツク海高気圧が北日本に張り出した。このため、東北太平洋側では冷たく湿った東よりの風の影響で、低温や日照不足となった。

梅雨入りは、東北南部・東北北部とも6月6日頃で平年より早かった。梅雨明けは、東北南部は7月7日頃で平年よりかなり早かったが、東北北部は梅雨期から盛夏期への移行が不明瞭で特定しなかった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

気象官署ごとの気候表、順位更新表などは表1~5を参照。

注) 平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、4ページ目下段の脚注を参照してください。

6月： 移動性高気圧に覆われ晴れる日もあったが、梅雨前線や低気圧の影響を受けて平年と同様に曇りや雨の日が多かった。中旬以降、太平洋高気圧の勢力が強まり、梅雨前線は本州南岸から東北地方に位置するが多く、東北地方は南部ほど前線の影響を受けやすかった。このため、月降水量は東北南部で多かった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

7月： 東北北部は、梅雨前線の影響を受け曇りや雨の日が多かった。ただし、南からの暖かい空気が入り気温は高かった。東北南部は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多く、高温・少雨・多照となった。ただし、上空の寒気や暖かく湿った気流の影響で、大気の状態が不安定になり雷雨となる日が多かった。また26日以降は、オホーツク海高気圧が北日本に張り出し、東北太平洋側では沿岸部を中心に曇りで低温となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり多い。

8月： オホーツク海高気圧の影響で、東北太平洋側は曇りや雨のぐずついた天気となったが、東北日本海側は晴れの日が多かった。また、気温は東北太平洋側を中心に低い日が続いた。

下旬には台風第11号が接近したため、東北地方は強風や大雨となり、交通障害や家屋の浸水、農地の冠水などの被害がでた。

平均気温は低い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。

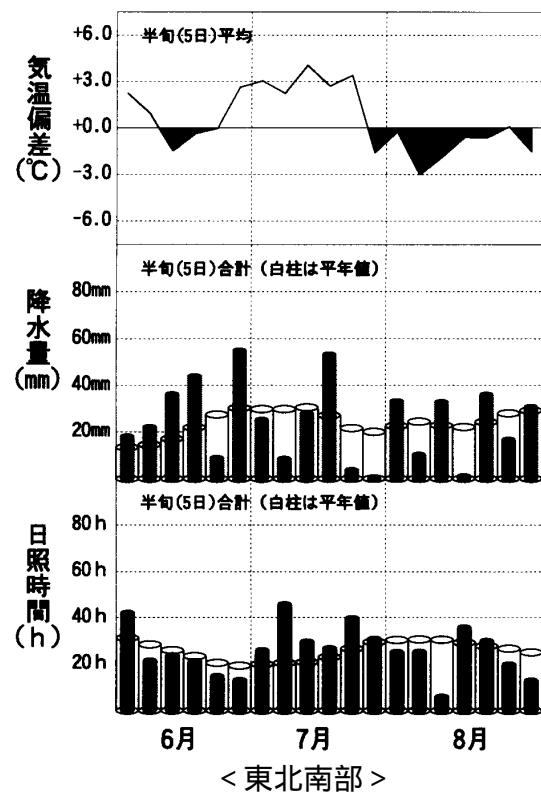
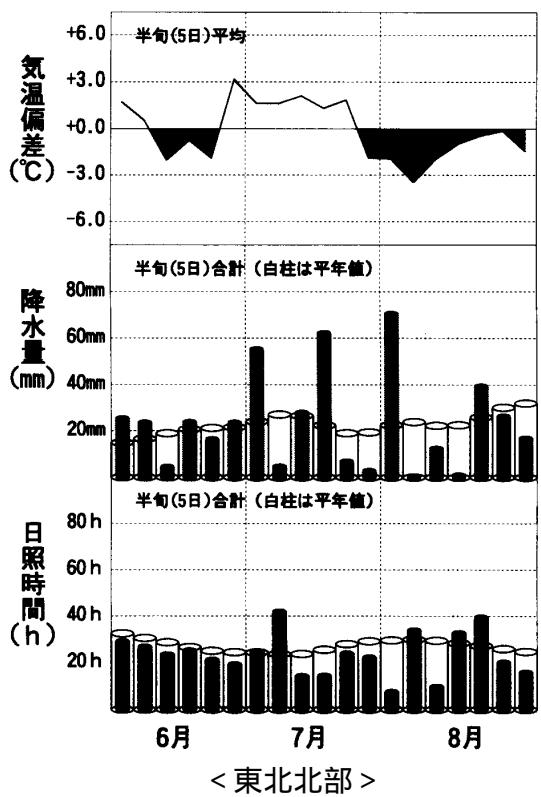
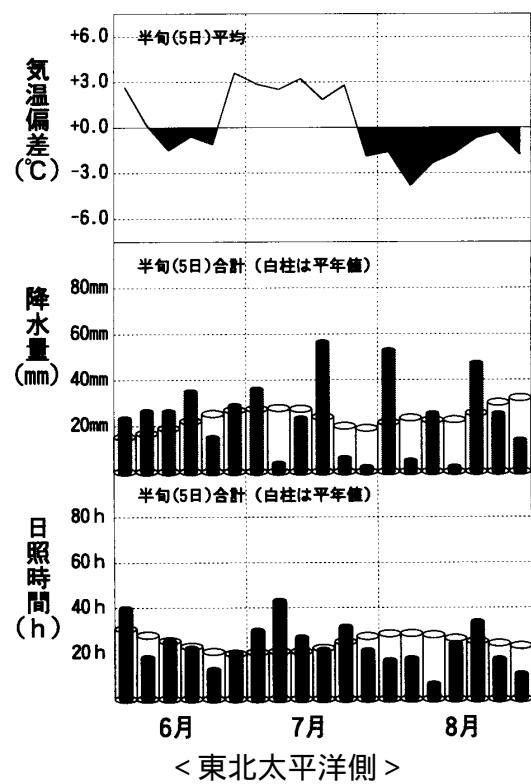
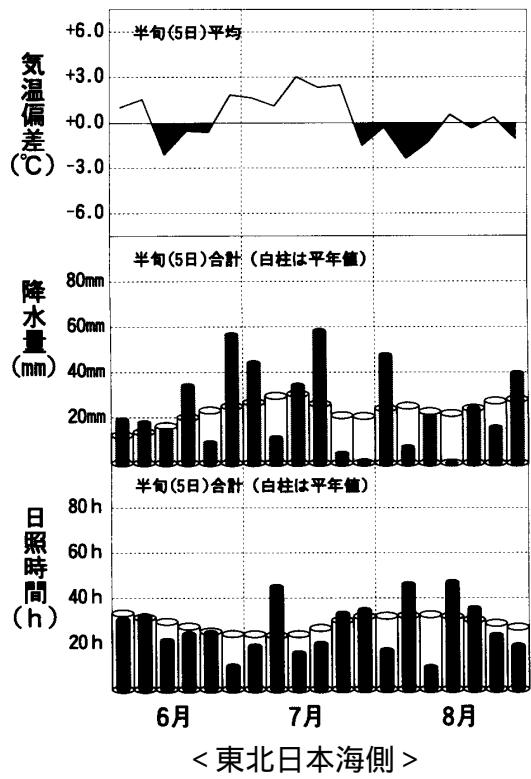
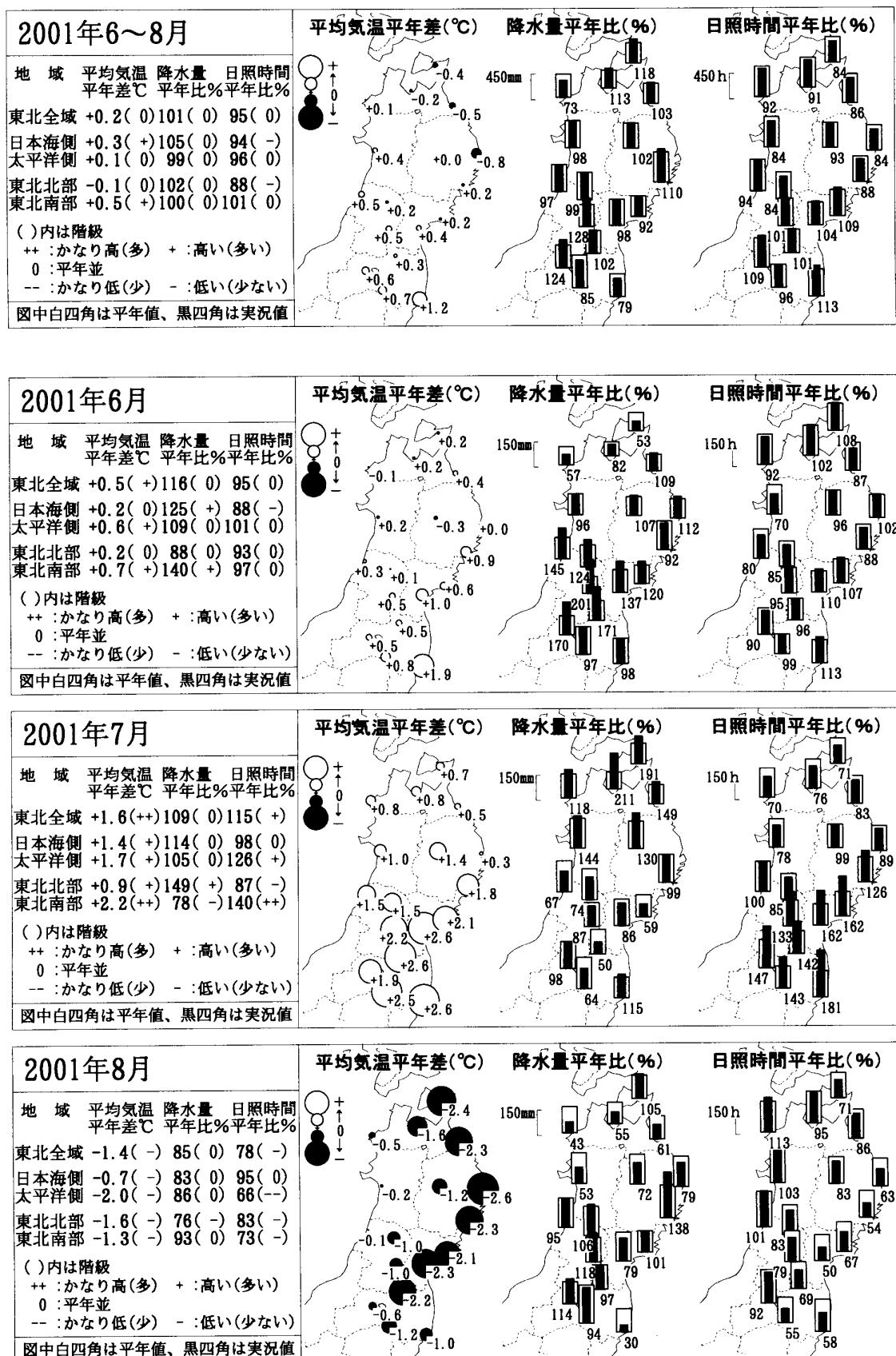


図1 地域平均した気温平年差、降水量、日照時間の半旬別時系列図

図2 東北地方における平年差(比)分布図(6~8月)



平年値の統計期間は1971~2000年。

表1 2001年夏(6~8月)の気候表

地点名	平均 気温 (°)	平年 差 (°)	階 級	降水量 (mm)	平年 比 (%)	階 級	降水 日数 1mm	日照時間 (h)	平年 比 (%)	階 級
青森 深浦 むつ 八戸	20.2	-0.2	-	354.0	113	+	32	501.2	91	-
	20.6	+0.1		301.0	73	-	35	499.0	92	-
	18.5	-0.4		440.0	118	+	27	391.7	84	-
	19.1	-0.5		368.0	103		31	437.0	86	-
秋田	22.4	+0.4	+	477.0	98		36	464.4	84	-
盛岡 大船渡 宮古	21.0	0.0	-	465.5	102		30	420.3	93	-
	20.6	+0.2		599.5	110		30	406.2	88	-
	18.6	-0.8		275.0)	63	-	30	380.2	84	-
仙台 石巻	21.9	+0.4	-	463.5	98		39	426.2	104	
	21.0	+0.2		339.0	92		30	513.2	109	
山形 新庄 酒田	23.0	+0.5	+	507.0	128	+	33	498.9	101	
	21.8	+0.2	+	484.5	99		34	406.8)	84	-
	23.0	+0.5		476.5	97		30	535.0	94	-
福島 若松 白河 小名浜	23.2	+0.3		414.0	102		36	425.6	101	
	23.3	+0.6	+	503.0	124	+	37	574.6	109	+
	21.9	+0.7	+	497.5	85		33	389.8)	96	
	22.5	+1.2	+	327.5	79	-	24	546.9	113	+

(注) 1. 平年値は1971~2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

+ : 高い(多い)

o : 平年並

- : 低い(少ない)

各階級の区分値は、1971~2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1971~2000年の間に、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に「\*」を付加した。この場合には

かなり高い(多い)

かなり低い(少ない)

と表現している。

3. 括弧付きの値は、欠測を含む値であることを示す。また、欠測が多く月の値を求められない場合は「x」とした。

表2 2001年夏(6~8月)の順位更新  
(3か月平均気温、3か月降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

該当なし

表3 月統計値の順位更新(月平均気温、月降水量、月間日照時間の3位以内のみ)

月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ( )	これまでの最高 ( )(年)	統計開始年	平年値 ( )
7月	1位	小名浜	24.3	24.1(1942)	1910	21.7
	2位	白河	24.5	24.6(1994)	1940	22.0
	3位	新庄 仙台	23.8 24.7	24.6(1994) 25.0(1978)	1986 1927	22.3 22.1

月平均気温低い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ( )	これまでの最低 ( )(年)	統計開始年	平年値 ( )
8月	3位	大船渡	20.7	19.7(1980)	1963	23.0

月間日照時間多い方からの順位更新

月	順位	地点名	日照時間 (h)	これまでの最多 (h)(年)	統計開始年	平年値 (h)
7月	2位	若松	248.9	256.3(1973)	1954	168.9
		仙台	207.5	211.7(1978)	1927	127.7
		小名浜	277.5	278.6(1978)	1910	153.1
	3位	石巻	239.0	274.0(1924)	1899	147.9

月間日照時間少ない方からの順位更新

月	順位	地点名	日照時間 (h)	これまでの最少 (h)(年)	統計開始年	平年値 (h)
8月	1位	大船渡	87.0	93.2(1982)	1963	161.5

表4 日統計値の順位更新(日最高気温、日最低気温、日降水量の3位以内のみ)

日最高気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	最高気温 ( )	起日	これまでの最高 ( )(起日)	開始年
7月	1位	大船渡	35.5	23	35.3(1994.7.31)	1964
	3位	白河	34.8	24	35.2(1995.7.24)	1940

日最高気温低い方からの順位更新

月	順位	地点名	最高気温 ( )	起日	これまでの最低 ( )(起日)	開始年
8月	3位	大船渡	18.9	7	18.3(1976.8.16)	1963

日最低気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	最低気温 ( )	起日	これまでの最高 ( )(起日)	開始年
6月	1位	小名浜	22.4	29	22.1(1991.6.27)	1951
7月	1位	仙台	27.4	24	25.7(1987.7.24)	1951
		小名浜	24.4	24	24.1(1985.7.31)	1951
	2位	石巻	24.6	24	25.0(1987.7.24)	1951
		白河	23.7	16	23.9(1991.7.31)	1951

日最低気温低い方からの順位更新

月	順位	地点名	最低気温 ( )	起日	これまでの最低 ( )(起日)	開始年
8月	1位	大船渡	10.2	19	11.0(1991.8.25)	1963
		宮古	9.9	19	10.8(1953.8.31)	1939
	2位	八戸	9.6	19	9.4(1953.8.31)	1937

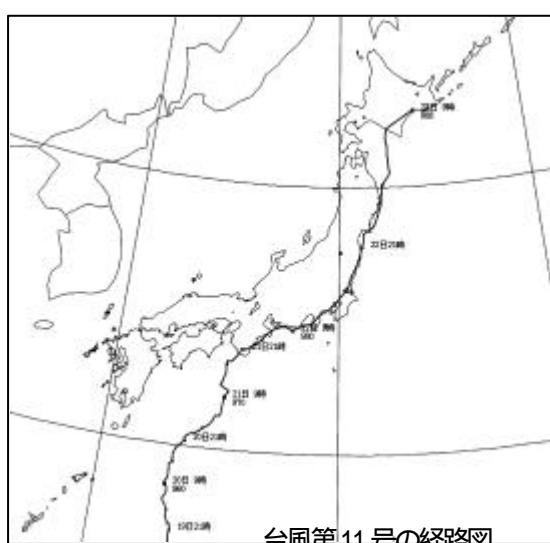
表5 日最高気温30以上日の日数と今夏の最高気温

	6月			7月			8月			夏			今夏の最高気温 ( )(起日)
	00年	01年	平年	00年	01年	平年	00年	01年	平年	00年	01年	平年	
青森	0	0	0.4	5	4	3.9	11	1	7.6	16	5	11.9	31.3 7月23日
深浦	0	0	0.0	2	0	1.4	3	1	3.9	5	1	5.2	30.0 8月17日
むつ	0	0	0.1	5	1	2.1	5	0	4.0	10	1	6.2	30.2 7月23日
八戸	0	0	0.6	8	5	5.2	6	1	7.4	14	6	13.2	32.5 7月23日
秋田	0	0	0.2	8	4	4.9	28	11	9.7	36	15	14.8	32.7 8月17日
盛岡	4	0	0.8	8	9	6.5	19	5	10.1	31	14	17.4	33.9 7月15日
宮古	1	1	0.6	9	4	4.4	3	1	6.8	13	6	11.7	32.7 7月30日
大船渡	0	0	0.4	5	6	3.4	9	1	5.7	14	7	9.6	35.5 7月23日
山形	6	0	2.4	20	21	11.7	30	12	17.5	56	33	31.6	35.7 7月15日
酒田	1	1	0.5	9	11	6.5	27	13	12.6	37	25	19.6	33.6 8月15日
新庄	3	0	1.1	15	16	7.9	28	8	13.0	46	24	22.0	34.5 7月22日
仙台	0	1	0.4	10	13	5.1	17	1	9.9	27	15	15.4	35.6 7月23日
石巻	0	0	0.1	4	7	2.3	5	1	4.8	9	8	7.2	33.0 7月14日
福島	9	5	3.4	22	24	13.3	25	8	18.1	56	37	34.9	37.0 7月15日
若松	4	1	2.2	18	25	12.1	29	14	18.4	51	40	32.7	35.0 7月15日
白河	0	1	0.6	15	20	6.8	18	5	10.7	33	26	18.2	34.8 7月24日
小名浜	0	1	0.3	2	8	1.9	7	2	3.8	9	11	6.0	34.4 8月4日

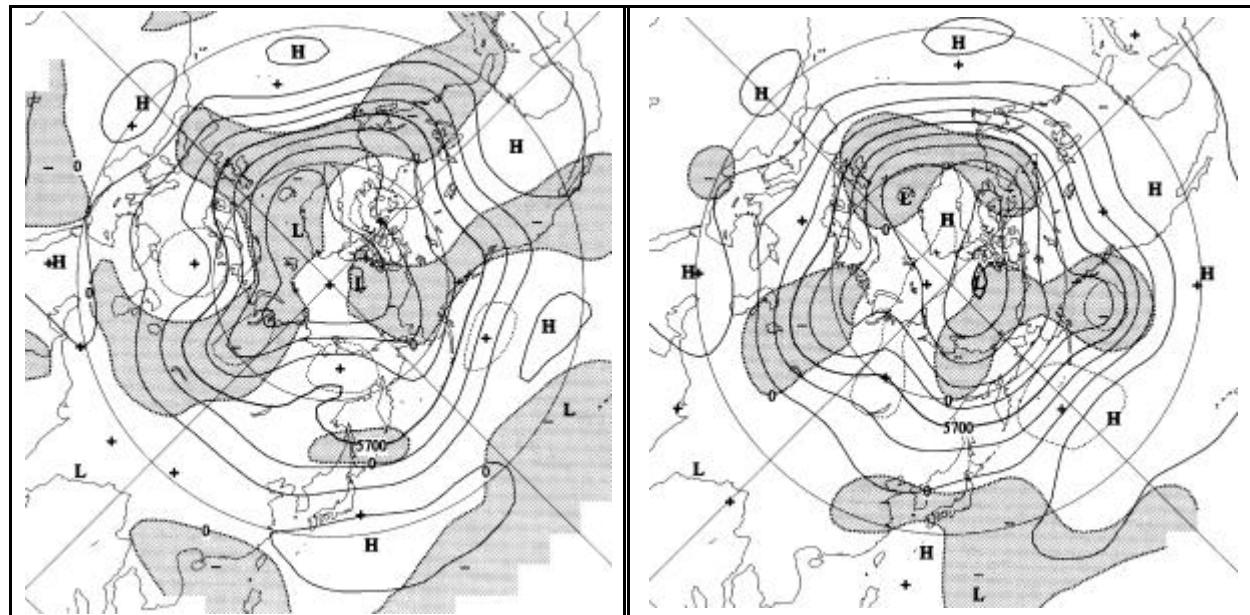
図3 台風について

今年の台風は、5月11日に第1号が発生し、8月31日までに14個発生している（平年14.1個、昨年13個）。

8月14日に発生した台風第11号は、2年ぶりに本州に上陸した台風で、8月21日から23日にかけ本州の太平洋沿岸沿いを進んだ。東北地方に接近した8月22日には各地で強風や大雨となり、交通障害や家屋の浸水、農地の冠水などの被害が出た。

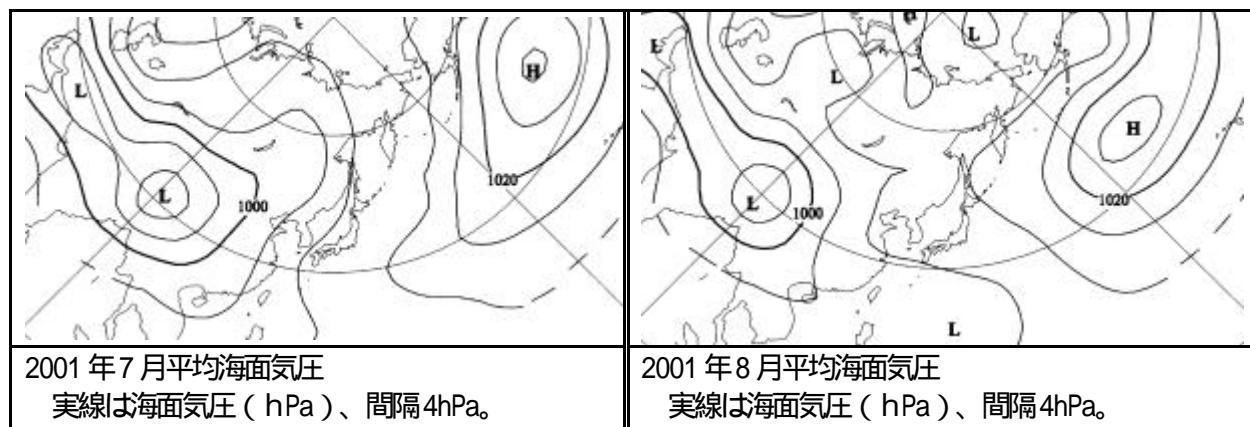


## 循環場の特徴(7・8月)



2001年7月平均500hPa高度  
実線は高度(m)、間隔60m。  
破線は偏差(m)、間隔60m。  
陰影部は平年より高度が低い領域。

2001年8月平均500hPa高度  
実線は高度(m)、間隔60m。  
破線は偏差(m)、間隔60m。  
陰影部は平年より高度が低い領域。



7月：

月平均500hPa高度をみると、日本付近は正偏差（平年より高度が高い）となっており、日本の南の高気圧の勢力は平年より強い。月平均海面気圧では、北緯30度帯に沿って太平洋高気圧が東から張り出しており、梅雨前線は日本海から東北北部に位置することが多かった。このため、東北南部は太平洋高気圧に覆われることが多く、東北北部は梅雨前線の影響を受けやすかった。

8月：

月平均500hPa高度をみると、高気圧は日本のはるか東海上にあり、本州付近は広く負偏差（平年より高度が低い）となっている。北緯40度以北は正偏差（平年より高度が高い）で中国東北区とカムチャッカ半島付近は気圧の谷場となっており、オホーツク海付近は相対的な気圧の尾根となっている。月平均海面気圧では、太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、オホーツク海付近は高圧部になっている。

このため、しばしばオホーツク海高気圧が発生し、東北地方にはオホーツク海高気圧からの冷たい東よりの風が入り込んだ。